



# 2020年度 国際学部 英国カルチュラル・ツーリズム & 英語研修（英国サリー大学）



英国は英語・英文学の背景となる文化や歴史があり、歴史的建造物、美術館、博物館、古い町並み、王宮、カントリーサイド（田舎）など、英国人の暮らしに関わる多くの資源が観光の対象として魅力を放ち、カルチュラル・ツーリズム（文化観光）の先進国となっています。また、「助け合い」精神の先進国でもあり、ボランティア活動が極めて盛んです。

一方、日本ではインバウンド観光が盛り上がり、観光立国政策が推進されています。観光ならびに英国の文化や歴史に興味を持つ方々に、英国から多くを学んでほしいと考え、本研修をご紹介します。

本研修が行われる英国サリー大学はロンドン市内から電車で約30分の、治安がよく、かつ中世以来の商業都市でもあるギルフォード市にあります。学寮で4週間滞在する間、教室での座学だけでなく、週1回のフィールドワークや、各自の関心に合わせたグループ・プロジェクトやボランティア活動を通して、英国の文化や多文化共生社会についても広く学ぶことができます。カルチュラル・ツーリズムや英国文化に関心のある人、本場で英語力を伸ばしたい人にお奨めの研修です。

**[研修期間]** ※日程は現在調整中です。決まり次第ご連絡いたします。

2020年8月上旬 東京(成田または羽田)出発～9月上旬 東京帰国(予定) [約1ヶ月間]  
※研修期間は学事日程の一部(追再試験、集中講義等)と重なります、ご注意ください

**[参加資格]**

原則として、「国際理解論」または「国際観光論」を履修中または単位取得済み、かつ言語科目（英語）を4単位以上取得済みの国際学部生（下記の参加条件を満たす他学部生の参加も認めます）。

**[参加条件]**

- ① 英語による講義を受けるために必要な最低限の英語コミュニケーション能力があること
- ② プログラムへの参加目的がはっきりしていること
- ③ 湘南校舎で行われる事前・事後研修およびオリエンテーションに参加すること

**[募集人員]**

15～17名程度

注意) ・参加申込数によっては研修催行中止もありえます。

・応募人数が募集人数を上回った場合には選抜を行います。

・本学の留学生が参加申込をした場合、英国へのビザが取得できなければ参加できません。

**[説明会]**

- ① 11月19日(火) @湘南校舎6105教室
  - ② 11月28日(木) @湘南校舎6105室
- 昼休み(12時40分～13時10分) ※説明内容は後日学内Webページで公開予定です。

**[参加申込締切]**

2020年1月17日(金) 16時00分(時間厳守) @各校舎国際交流センター国際交流室

(湘南・事務棟2階、越谷・11号館1階)

※ 参加申込みは、説明会開催日より随時受け付けます。参加を決めたら早めにご提出ください。

「参加申込書」に必要事項を記入し、顔写真2枚をご用意の上、各校舎国際交流室へご提出ください。

※ 参加を申し込まれる方で、まだパスポートを取得していない方は、各自で申請手続きを行い、2月中に取得してください。(パスポート残存期間によっては再発行が必要です。)

**[研修概要]**

本プログラムでは、国や地域の文化を観光資源として活用する「文化観光(Cultural Tourism)」と多文化共生について学びながら、同時に英語力を高めることを目的として、英国サリー大学で研修を行います(滞在先はサリー大学キャンパス内の学寮)。

上記の目的を達成するため、本研修では以下の4つのスキームを用意します。

1. **語学クラス** - 「聞く・話す」を中心とした授業を行います。特に観光や日常の場面で使われる語彙を増やし、最終週に行われる英語によるプレゼンテーションに向けて、英語力を鍛えていきます。
2. **専門クラス** - 観光、英国社会・文化、異文化間コミュニケーション、多文化共生社会、Charity Sector(慈善団体)などについて、英語で講義を受けます。
3. **プロジェクト・ワーク** - 各自の興味・関心に応じて研究課題案を出し合い、共通した関心のある学生同士でグループをつくってプロジェクトに取り組みます。講義時間だけでなく Independent Study の時間帯を使って、図書館での情報収集、学内外での調査や体験に基づき、4週目に成果を英語で発表します。
4. **現地視察** - 4回の学外視察を予定しています。うち2回はウォーキングツアーで、public foot path(パブリック・フットパス:英国が発祥の地)や運河沿いのツアーを予定し、これら公共の資産がどのように観光に活用されているのかを考えます。あと2回は貸切バスによる Windsor Castle(ウィンザー城)および Brighton(ブライトン:英国南部の街で、観光都市であるとともに、民族多様性を促進する政策を取る町としても有名)へのツアーを予定しています。

## [単位認定]

国際学部:2012年度以降入学生:「ESP D・E・F」(いずれか1科目2単位)と、

「特殊講義A・J」(いずれか1科目2単位) 計4単位

経営学部:2014年度以降入学生:外国語科目の英語科目(2単位)と「海外研修」(2単位) 計4単位

※単位認定科目を既に修得している場合は認定されません、予めご了承ください。

※所属する学科・領域や履修・単位修得状況によっては、認定科目が自由認定枠で認定されます。

## [研修費用]

約65万円(予定)

〈内容〉①授業料・教材費・現地視察

②寮費(部屋代・リネン代)

③旅費(往復航空運賃空港送迎費・空港税・燃油サーチャージ料金など)

※研修費用は2020年6月に旅行社の指定口座に一括でお振り込みいただく予定です。

◎費用は最終調整によって変更します。予めご了承ください。

◎参加費用とは別に自己負担で本学が指定する海外旅行傷害保険に必ず加入していただきます。

◎上記には現地での小遣い、食事代、フィールドワークに係る公共交通機関利用時の交通費および実費(入場料等)は含まれておりません。

◎留学生が参加する場合、別途英国へのビザおよびビザに係る費用が必要になります。

(申請後ビザが許可されず参加できなくなった場合でも係った費用は一切返金されません。)

◎燃油サーチャージ料金はチケット発券時まで確定せずに変動します。

## [事前・事後研修と事前オリエンテーション]

研修参加者は、事前オリエンテーション2回および事前研修2コマ(2020年5月、7月開催予定)と事後研修1コマ(2020年9月開催予定)に必ずご参加いただきます。いずれも湘南校舎で行います。詳細は、研修実施決定後に、研修参加が確定した方にお伝えします。

## [参考日程表(2017年度のもの)] ※次頁以降を参照ください。内容は変更になる可能性があります。

主管部署:国際学部国際交流・UNAI委員会

※研修内容についてのお問い合わせは、

国際学部・塩沢泰子先生(湘南校舎6315研究室: yasuko@shonan.bunkyo.ac.jp)へどうぞ。

研修参加の手続きについては、各校舎国際交流センター国際交流室へどうぞ。